

「日々の理科」(第1230号) 2017 (H29),11,18  
水彩画教室 870 「ツタとケヤキ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

東京もやっと秋が深まってきました。職場の構内にも落葉樹がたくさんあって、色とりどりの落ち葉が見られます。その中のツタとケヤキの葉を描いてみました。正確に描くのは難しいのですが、何回描いても楽しいです。



これが完成した絵です



1、ツタの葉の色は レモンイエロー・黄・橙・赤・茶・紫の順に重ねます。これは葉の色の变化と似ています。



2、葉の縁が茶色に変色している様子をもう少し丁寧に描けばよかった。



3、葉の縁に薄いブラックで影をつけます。特に葉の先端は影を離して描くと良い。



4、ケヤキの葉と葉の重なりにも影を描くと、葉が重なっている様子がわかります。



5、ケヤキの葉脈は「互生」なので、中心の葉脈から左右交互に描きます。



6、一番右の小さな葉は、全体の枚数を「奇数」にするために加えました。